



よこすか 京急沿線ウォーク



**注意
ポイント!**



坂が急になり、
岩が滑るので注意!



大きな石があり、滑りやすいので左に回って下ってください。



石段状の下り坂。
滑りやすいので注意!



手すりとロープのある下り階段。
段差が大きいので注意!



鎖とロープのある岩場。
ゆっくり進んでください。



狭い階段の上り下り
があります。



コース

神武寺駅

1.1Km ▼ 15分

① 逗子中学校

1.5Km ▼ 25分

② 神武寺

1.6Km ▼ 35分

③ 鷹取山公園

0.4Km ▼ 15分

④ 磨崖仏

2.4Km ▼ 30分

追浜駅

ご参加の皆様へ
ご注意!

本コースは急な山道や岩場、くさり場などを通ります。足元には十分ご注意ください。また、狭い歩道や横断箇所等がございます。必ず歩道・横断歩道をお歩きいただき、車両には十分ご注意ください。ウォーク中の事故・負傷等につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。

よこすか 京急沿線ウォーク

YOKOSUKA Keikyu Ensen Walk

2009年度 第4回 神武寺・鷹取山トレッキング 2009年11月28日

次回 2009年度 第5回 Y・フェスタ追浜ウォーク 金沢文庫駅～追浜駅

2010年3月20日(土) 9:00～11:00 金沢文庫駅集合

※コースは予定です。変更となる場合があります。

2010年度以降の開催については、2010年1月頃決定する予定です。

今後の実施内容等については、インターネットホームページなどでご確認ください。

http://www.cocoyoko.net/keikyu_walk



神武寺

聖武天皇の夢に現れた薬師如来の「東方に寺を建てよ」とのお告げから、神亀元年(724)に行基により創建されたといわれています。

鎌倉に幕府を開いた源氏が信仰し、頼朝による妻政子の安産祈願や、実朝が疱瘡平癒の参詣を行ったことが『吾妻鏡』に記されています。

本堂である現在の薬師堂は神武寺に現存する最も古い建築物で、寛文6年(1666)に再建されたと伝えられています。岩壁の上に建つ、四方の柱に精緻な龍の彫刻が施された鐘楼は安政3年(1856)の建造で「神武寺の晚鐘」として知られています。境内の周辺の木々は大樹が多く、本堂前には樹齢400年といわれるホルトノキの「なんじやもんじや」の巨木があります。また、逗子市の天然記念物に指定されているイワタバコが自生しています。

本尊は木造薬師如来坐像が祭られています。本開帳は33年に一回で次回開帳は2017年。ただし毎年12月13日の「お煤払い法会」には開帳されます。



▲神武寺



なんじやもんじや
の巨木▶

鷹取山

標高139mの鷹取山は、垂直に切り立った岩壁が特徴で、群馬県の妙義山に似ているところから「湘南妙義」の別名があります。明治中期から昭和初期まで石材を採取したため、現在の奇峰が形作られました。切り出された石は、耐火性に優れ、柔らかで加工しやすいため、土蔵などの建築用材や家庭用のかまどにも利用されていました。また、東京湾の海堡(かいほう)建設にも使用されました。

そびえ立つ岩肌に開いている無数の穴は、ロッククライミングの練習で打ち込まれたハーケンの跡です。展望台からの眺めも抜群で、晴れた日には富士山から伊豆、箱根、房総半島まで雄大なパノラマを楽しむことができます。休日にはハイキングを楽しむ人々でぎわいます。



磨崖仏

鷹取山公園内の岩山のひとつに彫られている、巨大な弥勒菩薩尊像は、彫刻家の藤島茂氏が昭和35年から約1年かけて製作したもので、像高約8m、像幅約4mもあります。

別に、釈迦如来像の磨崖仏もありましたが、昭和40年に鷹取小学校建設のために破壊されています。



おみやげ 横須賀おっぱまワイン

「横須賀おっぱまワイン」は、横須賀市追浜町の追浜商盛会が、全国で初めて商店街としてワイン醸造免許を取得して製造・販売している手作りワインです。甘口でフルーティーな味わいで、横須賀のお土産にもおすすめです。

その追浜ワインを販売しているのが、商店街の空き店舗を利用した「追浜こみゆに亭&ワイナリー」。こみゆに亭では「おっぱまワイン」のほか、長野や山形から直送された野菜、米、味噌、地域作業所の作品などを販売、ワイナリーでワイン醸造を行っています。



追浜ワイン(720ml)1,300円 (360ml)900円